

広報 なぎじん

No. 78

1982年 5月

村章

(毎月1日発行)



▲哀愁を三味の調べにのせて (今婦仁チャクニー大会開催)

今婦仁村の人口(昭和57年3月31日現在)

人口 9,926人 (-82)

()内は前月比



5,028人 (-54) 4,898人 (-28) 世帯数 2,774戸 (+2)

編集発行: 今婦仁村役場総務課秘書広報係
〒905-04 沖縄県今婦仁村字仲宗根219 電話098056-2101
印刷: 沖縄高速印刷株式会社
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

今月の主な内容

- 二 健やかな子供の成長を願って
五月五日・十一日 児童福祉週間
- 三 成果をあげるモデル事業
チャクニー大会開催
- 四 献体にご協力を
五五年国調から
本村の女子一生に
おける出生数三・一人
- 五 村民コーナー私の一言
アレルギー体質の子供を持って
字謝名一九五 松川光子
- 六 高額療養資金
貸付制度ができました
山城興徳氏を講師に
「話し方教室開催」
- 七 村協の二利用を
児童手当の特例措置について

特集

健やかな子供の成長を

願って

5月5日～11日・児童福祉週間



〈少なくなつた子供の数〉

わたしどもの子供のころはいわゆるガキ大将を中心に、いつも徒党を組んで日暮れ近くまで遊んだものです。ところが、高度経済成長や環境の変化のためか、子供たちが群れをなして遊ぶという現象は都会はもとより地方の町に行つても、めつたに見られなくなりました。これは最近五年間の人口動



向から明らかなように、出生率が予想以上に低下し、子供の数がかなり減つてきているのがその原因の一つでしょう。その結果、子供同士がグループで無心にたわむれるような場所も機会も少なくなつてしまいました。幼稚園や小学校に入学しても、集団の中に溶け込めないで、登校を嫌がったり、ついには拒否する子供たちが増えているのも、

★こうした背景があるからです。

大人でいえば心身症とも言える子供たちが増えているわけですから、現在は、特に子供たちの精神面を重視しなくてはならない時代に立ち至つているのです。ところが、このよつな「病氣」をだれどこに治療するのはなかなか難しい。そこで、当然のことながら、それぞれの地域社会で子供たちの遊び場を確保したり、触

子供の数が減っている――

健全育成に新たな視点を

国立小児病院 院長 市橋保雄

れ合いの場を作っていくことがますます大事になつてきます。しかし、それ以上に大切なことは、家庭における両親の子供に対する接し方です。〈子供に期待をかけ過ぎる〉出生率の低下――一人の女性が生む子供の数は、昭和二十五年の三・六人から、現在では一・七人へと半減しています。子供の数が少なくなるに伴い、親はあまりにも

子供に期待をかけすぎてはいないか、ということですね。

子供を立派に育てようと思ふあまり、「あれもいけない」「これもいけない」「あれをしなさい」「これをしなさい」では、子供らしさを失つてしまひます。

子供が自分でリンゴの皮をむき始めると「まあ危ない、ママがむいてあげるから」と言つてナイフを取り上げる――

これでは、子供の自立心は育ちません。どうも、親のしつかけが、過保護や干渉にすり替わつていくように思えてならないのです。〈時には「悪の体験」も〉わたしは、子供たちに、時にはあえて「悪の体験」をさせてほしいと思います。悪と言つても、泥棒をしるとか暴力を振るえと勧めているのではありません。

正当な理由で、子供が友だちとケンカをするというのなら、一度、自分の意志を通してみるのもいいと思うのです。木登りも「危ない危ない」と言うだけでなく、やらせてみるべきでしょう。そういうたぐいの「悪の体験」です。

ケンカを一度体験することによつて、子供は痛い思いを遂して、自分を反省するかも知れないし、あるいは、いさかしのむなしさを感じとるかも知れないのです。

〈小児ぜんそくの原因〉知人のお孫さん(小学生)がひどい小児ぜんそくで悩んでいたのですが、わたしは、「親に頼つてばかりいないで、ケンカの一つもしてみなさい」と、お尻をポンとたたいて勇気づけたことがあります。案外効果があつたようです。小児ぜんそくは、精神的な弱さや家庭環境によることも多いのです。

「健全な家庭に健全な子供は育つ」――このごく当たり前のスタートラインに、お田さん、お父さんはもう一度戻つてみる必要があるように思えてなりません。(談)

成果をあげるモデル事業

これまでに集落道9、集排11、農排4が整備

今年は古宇利環境改善センターを建設

村では、昭和五十四年度より農村総合整備モデル事業を導入し、集落道や農業排水、集落排水の整備に大きな成果をあげてまいりました。

この事業は、昭和六十年年度までの七カ年継続事業ですが、今回は五十四年度から五十八年度までに実施された事業、さらに今年度実施予定の事業について紹介いたします。

昭和五十四年度

五十四年度には、宇仲尾次の農業排水九五〇メートルが整備されました。総事業費は三、七

昭和五五年度

五十五年度では、集落道四本、農業排水一本、集落排水二本が

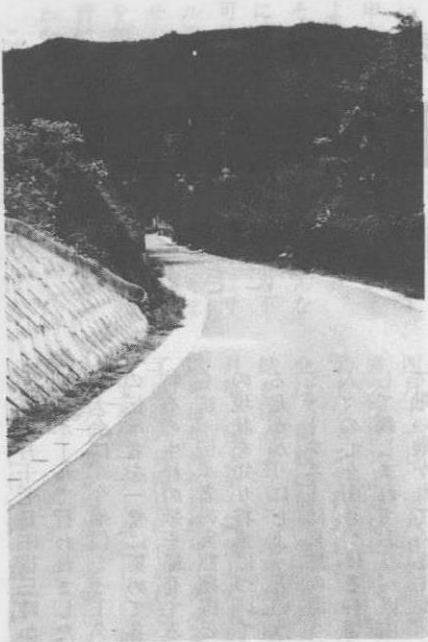
〇四万一千円となっています。

昭和五六年度

五十六年度には、農業排水二本、集落道五本、集落排水九本が整備されました。

農業排水は、諸志の二九六メートル、越地の六八七メートル、計九八三メートルが整備され、事業費は二、六〇七万六千円となっています。

▲湧川集落道



整備されました。

まず、集落道は今泊の二五〇メートル、ならびに一九〇メートル、平敷の一五〇メートル、湧川の二八〇メートルと、計八三四メートルが整備されました。総事業費は四、九九一万二千元となっています。

農業排水は崎山の一〇五メートルが整備され、事業費は五三二万五千元。

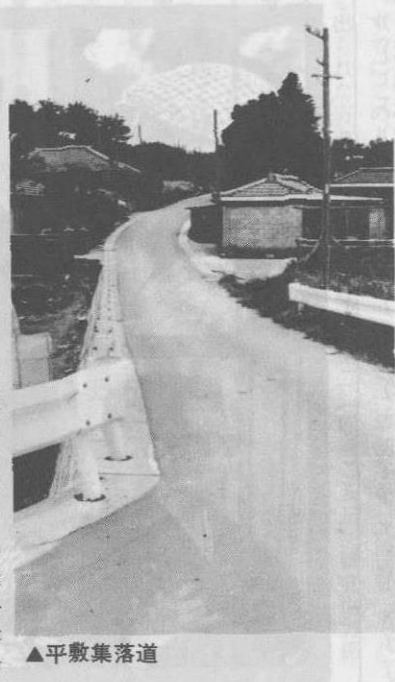
集落排水として、勢理客の一八〇メートル、上運天の一七八メートルが整備。事業費は一、八七三万三千元となっています。

古宇利の三五四メートル、ならびに一七六メートル、一七三メートルの計一、二九一メートルが整備。事業費は五、九六六万円となっています。

集落排水は、諸志の二二二メートル、与那嶺の一七三メートルならびに一四九メートル、崎山の二七一メートル、湧川の一〇七メートル、九一メートル、四二メートル、二二〇メートル、一〇〇万円の予定です。

昭和五七年度

五十七年度では古宇利環境改善センター、運天の農道整備が実施されます。事業費は一億二、一〇〇万円の予定です。



▲平敷集落道

今泊・崎山の区長かわる

四月一日付けて、宇今泊と崎山において区長が交替しました。宇今泊では、大城幸謙さんに



今泊区長 仲宗根哲夫

新区長に皆様のご協力をお願いいたします。



崎山区長 山城 一男

哀愁をのせて

ミヤークニー大会開催

500人がつめかけ
にさわう



村老人クラブ連合会（湧川善雄会長）と、しまつた文化研究会（仲宗根幸市会長）共催による「今帰仁ミヤークニー大会」

が、四月十七日午後三時から村役場ホールで行われました。

大会は、今帰仁ミヤークニーの伝承者を一堂に集めて各部落特有の生粋の歌を紹介するとともに、伝承者の実態把握と伝承の現状を知り将来について考える足がかりにしようというもの、ミヤークニーは哀愁の漂う最も人々の心を引きつける抒情歌として親しまれており、県内各地で歌い継がれていますが、その源流は私たちの今帰仁村だといわれています。ところが、その節まわしや思い入れの困難性から、伝承者はほとんどが七十歳以上の高齢者となっており、多くの人々の願いで開催されることになったものです。

大会は、しまつた文化研究会の仲宗根会長（湧川出身）の司会で開会され、まず、今泊の大家菊三さん（七一歳）が「今帰仁ぬ城しむないの九年母……」の歌詞で情感たっぷりに歌い会場のかつさいをあげました。また、さん（八四歳）は目の不自由をおして出場。みごとな節まわしで「さすが」と聴衆をうならせました。このように今大会には三三人が出演し、それぞれのミヤークニーを披露しました。

大会は、しまつた文化研究会の仲宗根会長（湧川出身）の司会で開会され、まず、今泊の大家菊三さん（七一歳）が「今帰仁ぬ城しむないの九年母……」の歌詞で情感たっぷりに歌い会場のかつさいをあげました。また、

玉城の永山寛英

大会出場者

①	仲上大与	根間城嶺	新英菊源	榮政三輝	(今)	泊	82歳
②	大与	城嶺	源鎮カ	政三輝	(〃	76歳)
③	与	嶺	鎮カ	三輝	(〃	71歳)
④	与	嶺	カ	兼(諸)	(兼)	次	70歳)
⑤	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	68歳)
⑥	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	65歳)
⑦	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	74歳)
⑧	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	71歳)
⑨	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	71歳)
⑩	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	74歳)
⑪	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	74歳)
⑫	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	63歳)
⑬	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	58歳)
⑭	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	54歳)
⑮	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	68歳)
⑯	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	78歳)
⑰	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	84歳)
⑱	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	82歳)
⑲	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	65歳)
⑳	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	70歳)
㉑	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	60歳)
㉒	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	74歳)
㉓	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	73歳)
㉔	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	72歳)
㉕	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	73歳)
㉖	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	79歳)
㉗	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	78歳)
㉘	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	84歳)
㉙	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	34歳)
㉚	与	嶺	カ	那(諸)	(兼)	志	31歳)



献体にご協力を

医学の進歩に貢献

県民の皆さん、琉球大学医学部は昨年より「医者の卵」を受け入れ、その教育を開始しております。これから毎年一〇〇名づつの学生を受け入れることとなりますが、医学部としましては特に沖縄県の地域医療を担う医者の養成に最善の努力を払う所存でございます。又、県出身者が昭和五六年度に三四名、五七年度に四一名も合格したことは県民にとって大きな喜びとなつたことでしょうか。

これらの学生達が一人前の立派な医者となっていくためには、これから医学の様々な分野について勉強していかなければなりません。中でも人体の構造について学ぶことが必要であります。申すまでもなく人間の体は例えようのない複雑なものであり、それについて学ぶには、どんなに巧妙な模型をもってしても不可能です。他の動物(例えばサル等)で代用することは出来ません。医者は他ならず私達人間を相手にするのであり、その教育には人間の体で勉強してもらわなければならないのです。

このように医者の養成には人

の体が必要であります。それは多くの県民の深いご理解とご協力に待たなければなりません。御遺体の確保は、県民の皆様からの献体という御協力以外に他の方法はありません。このことは医者の倫理感やヒューマニズムを育くむ上でも、大きな影響を与えることになりましょう。

学部でも「献体」という尊いご協力を県民の皆様にお願ひしなければなりません。献体とは、私達が各々天寿を全うした後、自分(又は家族等)の遺体を医学教育に役立てるため、大学へ無償で提供していただくことをいいます。この献体がなければ医者を養成することはできません。従って、献体とは何よりもまず、より良い医者を育てるための「協力」であり、私達自身(あるいは子や孫たち)が安心して医者にかかることができるようにするために必要なことな

のです。明治四五五年に廃校となった沖縄医学校以来、本県において医者を養成する機関がなかったため、献体についてはこれまで耳にしたことがないかも知れません。しかし、琉球大学に医学部ができた今、医者を育てるために必要なこの献体を、県民のご協力によって確保しなければなりません。

しかし、今年度から始まる医学の専門教育に必要なところまではとても及ばない現状です。沖縄県の医師確保と医学の向上発展のため、なにとぞ県民一人一人のご理解とご協力を切にお願ひいたします。

※献体や「琉球でいご会」についてのお問い合わせは琉球大学医学部(那覇市与儀一―三一、TEL―〇九八八―五五―五〇六一)解剖学第一(内線二五六)第二(内線二五三)研究協力係(内線二五四)へどうぞ。

ミニ甲子園兼中同窓生野球

二五期生が初優勝

ミニ甲子園大会と称される「第十二回兼中同窓生野球大会」(大城辰夫実行委員長)が四月十一日、十八日の両日、村営グラウンド並びにリゾートステーションで行われた。この大会は、同校の同窓生が親睦と団結を深めようと、昭和五一年八月第一回大会を開催したもので、以来毎年高校野球甲子園大会終了直後の日曜日に行われる。同級生を単一チームとして、毎回十数チームが参加する盛況ぶりだ。

ムから若い二十歳のチームまで十二チームが参加。真紅の優勝旗をめざしてしのぎをけずった。決勝戦には、それぞれ三勝づつをあげた十八期生(三二歳)と二五期生(二五歳)が進出し優勝をかけて十八日午後から試合が行われた。途中雨で中断するアクシデントもあったが、大城秀輝(十八期)島袋輝也(二五期)と、村を代表する両投手の投げ合いで白熱したゲームが展開された。その結果、若さで勝る二五期生が三対一と辛くも逃げきり大会初優勝を飾った。

大会終了後閉会式が行われ、優勝チームに優勝旗、準優勝にトロフィーがそれぞれ贈られた。次いで後評を述べた大城実行委員長は「最近、選手が集りが悪いので、各チームとも自覚して次大会を盛り上げてほしい」と指摘。選手の奮起をうながした。



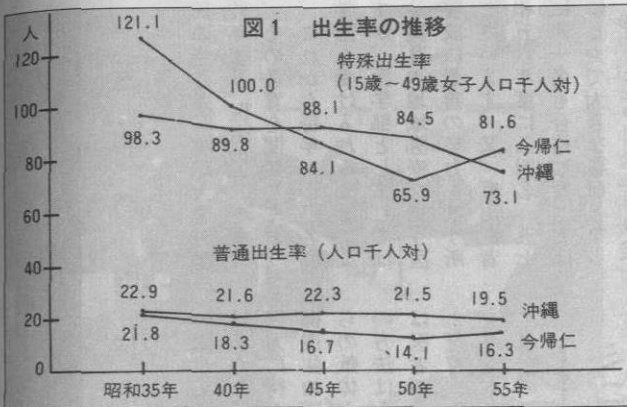
▲優勝した25期生

今大会には、四十歳近いチー

生野球大会を開

55年国調から

本村の女子生に おける出生数3.1人



出生数、死亡数を見た限りでは、自然動態(出生・死亡)の動向はわりと安定しているのがおわかりいただけだと思います。ここでは出生力という観点から、県全体と比較しつつ検討してみたいと思います。

外国での例からして、出生・死亡は多産多死から多産少死を経て、少産少死へ移行するといわれています。しかしこうした移り変わりは全国的レベルで総体的に見た場合のことで、各地域の範囲でみると景気変動などとも符合していろいろと変動しているのが実情です。

普通出生率(総人口に対する出生率)でみると、沖縄県においては今世紀初めからずっと上昇を続け、戦後のベビーブーム期(一九四七~五四年)をピークに、以後減少基調を示しています。昭和五十三年には、今世紀に入って以来はじめて20%(パーミル)を割りました(ただし昭和四一年のヒノエウマを除く)。それでも全国に比べればまだ高い方で、今後の動向が注目されます。私達今帰仁村の出生率については、昭和三十五年

以前の資料がないため単にどうとは言えませんが、本村も戦後のベビーブーム期がピークであったと推測されます。昭和三十五年以降でみると、次第に減少してきているのがわかります。昭和五十年には落ち込みがみられますが、海洋博のため単身の労働者が多数流入したのが影響しています。五十年を除けば、四十五年から五十五年までの十年間でわずか〇・四ポイントの減で横ばい傾向にあるとみてよいでしょう。

次に、より詳しく出生力を知るため再生産年齢十五歳ないし四十九歳の女子人口に対する出生率(特殊出生率)をみてみます。昭和三十五年、四十年と高い数値を示していますが、減少の度合が著るしく、四十五年・五十年と全県を割っています。しかし五十五年には八一・六%と県を上回り、十年前の四十五年に比べて二・五ポイントの減で少しゆるやかとなっています。五十年には著るしい低下がみられますが、前述のとおり海洋博時における未婚女子労働者の一時滞在によるものと思われる。本村の出生率は、普通出生率では県を下回り、特殊出生率では県を上回る動向を示しています。このことは出産年齢層である若年層の流出が多く、従って非出

表1 年齢階層別特殊出生率——県と村との比較
昭和55年(人、%)

歳	今 帰 仁 村		沖 縄 県		
	出生数	女子人口	出生数	女子人口	出生率
15~19	3	469	577	46,496	12.4
20~24	43	240	4,812	39,828	120.8
25~29	65	276	8,414	48,960	174.0
30~34	35	239	4,751	41,519	114.4
35~39	9	199	1,413	32,505	43.5
40~44	1	200	300	35,863	8.4
45~49	0	288	12	32,871	0.4
計	156	1,911	20,281	277,442	73.1

出生数の計は不詳を含む。 女子人口——国勢調査
出生数——衛生統計年報

産年齢層(老齢人口)の割合が県と比較して高いということが考えられます。又少ない再生産年齢人口で多くの子供を産出していると推察されます。

表1でみると、子供はほとんど母親の年齢二〇歳~三四歳で産んでいることがわかります。そのうちでも二五歳~二九歳が最も多い。以前は三〇歳~三四歳の方も多かったが、次第に低年齢化してきて、今では二〇歳~二四歳で産むのが増えています。又第一子は二〇歳~二四歳で産んでいるのが多い(衛生統計年報)。ところで、女子一人当り一生のうち何名の子供を産んでいるかという粗再生産率についてですが、五十五年現在で算出

※粗再生産率 = $\frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \times 5$ (15歳から49歳までの合計)
 ※パーミル(‰) = 千分率で人口千人に対する人数

沖 縄 県 0.4739 × 5 ≒ 2.4(人)
 今 帰 仁 村 0.6177 × 5 ≒ 3.1(人)

すると、本村が一人当たり三・一人となっていて、県二・四人より〇・七ポイント上回っています。全国では昭和五十年に一・九人とすでに二人を割っています。少ない子供を早めに産んでおくという現代の風潮があり、今後本村も少産時代が来ないとも限りません。幸せいっぱいにも満たした結婚式、新郎新婦に「将来何人の子供をつくりたいですか」と聞くと「二~三人」或いは「たくさんつくりたい」と答えます。しかし事実は収入などの制約を受け、全国的な流れとして一人ないし二人にせまらなければならないのが現状のようです。(企画財政課統計係)



アレルギー体質の子供を持つて

字謝名一九五

松川 光子

私の長男の場合を例として私の長男は典型的なアレルギー体質の子供でした。

母親の私は、喘息であったという事はありませんでしたが、主人とその母の方は、かなり強いアレルギー性鼻炎がありました。朝起きたらクシャミ七、八回は必ずし、毎年の秋の涼しい風が吹き始める頃、はげしいクシヤミと鼻水が始まり、十回も二十回もくり返して、全身がそのため汗ばむくらいになってやっとおさまります。ホコリを吸ってもおこり、大掃除の時はいつも空気の良いところへ逃げていきました。

次男にはアレルギー体質はみられません。このように両親のどちらかにアレルギーがあり、子供の半分にはアレルギー体質が出るというのは、優性遺伝の典型的な形だそうですね。



ルマルと肥っていました。風邪をひきやすく、月に一、二回は医者にかかりました。該が始まると、ゼロゼロがとれず、夜中に息苦しい状態になりました。二、三歳の頃から、それほど風邪をひいたと思われないのに、起き上って「苦しい」と訴えました。気管支拡張剤を与えて軽快しましたが、それは一時的なもので、何回か繰り返すようになりましました。初めは「ガンバレ、ガンバレ、そのうちに楽になるから」と励ましてしんぼうさせると、朝にはそのまま治ることがありましました。が、それもだんだんむつかしくなりました。発作のないときは、ケロリとしてまったく元気でした。

六歳のとき、前よりも喘息発作がおこるようになり、そのたびに病院にかけつけ、薬をもらったり注射してもらったりしていました。その頃から、彼は苦しくて歩けず、私が背中におぶっていきましました。夜中医者に



行く途中、道の悪い所で転んで親子ともども泣いたこともありましました。発作が起るとあわれめておれない状態で、かわれるものならかわってやりたいと思つたことが幾度もありましました。風邪の流行のときは一番に引き、小学校一年、四年生までは半分しか通学していませんでした。発作時のクスリや注射は決して体質的な治療法ではなく、一時的によくするだけで、それも何回か重なるうちに次第に大量に必要になることを医者から言われて知り、私は従来の方針を変え、クスリは必要最少量に止め、積極的な訓練療法をとり入れることにしました。

その方法は小児科の先生より教わったもので、「生活を規則正しくし、乾布マサツと冷水シヤワーで皮膚を訓練する」やり方です。最も良いのは、一時家庭を離れて病院に入り、朝から寝るまでズボンだけの裸の生活をするのだそうですね。両親から離れることは、非常に有効なことが認められているそうです。長男は入院はしませんでした。が、入院とほぼ同じように朝、晩、私が全身皮膚が赤くなるまでマサツをし、入浴時に冷水シヤワーを浴びて温かい浴槽にとび込むことを二、三回繰り返させました。少々咳があっても薄着を励行し、できるだけ外で遊ぶようにし、軽い発作のときはクスリを与えず腹式呼吸と励ましてしんぼうさせました。すると不思議に朝は軽くなりました。このような生活態度の変化は徐々に効果をあらわし、発作はだんだん起らなくなり、起っても軽くて済むようになりました。

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。

※あて先
今帰仁村字仲宗根二一九
村役場総務課秘書広報係
(TEL-21101)



高額療養資金 貸付制度ができました

57年4月診療分より適用できます

手続きは簡単です

貸付申請書は役場の窓口に準備してあります。

(資格)

- (1) 今帰仁村国民健康保険の被保険者であること
- (2) 高額療養の自己負担が困難であること
- (3) 高額療養費の支給を受ける者

(注意)

- 同じ月内に同じ病院や診療所における療養費に対してのみ当てはまります。
- 返済方法は高額療養費を受ける日までです。

くわしくは今帰仁村国民健康保険係へ

自己負担が困難なとき

39,000円で安心して療養できます

◎高額療養費支給制度とは

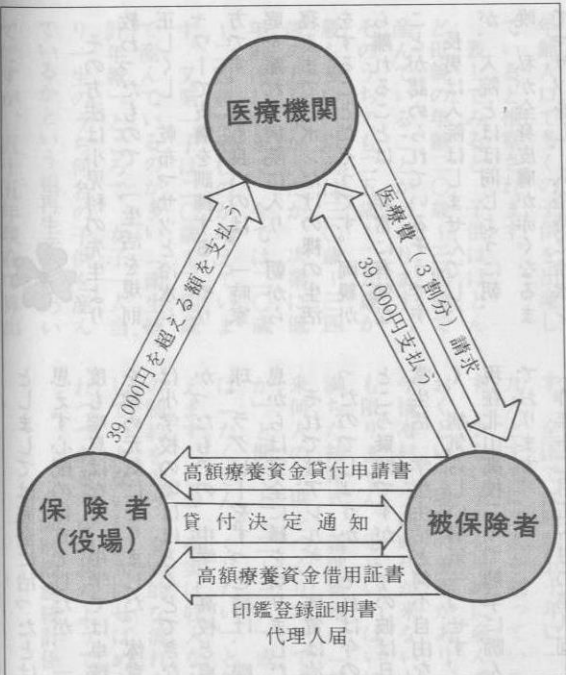
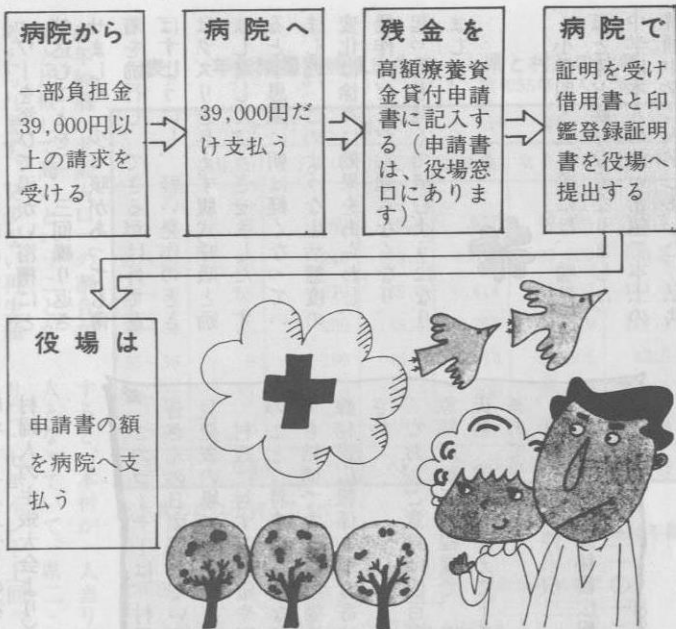
お医者さんにかかって病院、診療所で1ヶ月に39,000円の自己負担額(医療費の3割)を支払った場合にはその超えた額は全額国保が負担して支給します。



◎高額療養資金貸付制度とは

左記の高額療養費は診療を受けてから支給までは約2ヶ月かかります。その間皆様には、金銭的無理をしていることとなりますので、高額療養費に該当する金額の貸付を行ない皆様の負担を軽くする制度です、よって病気やけがをした場合安心して治療が受けられます。

◎このような制度です



山城興徳氏を講師に 話し方教室開催

昭和五十六年度成人学級の「話し方教室」が、二月十六日から三月十二日までの毎週土曜日の二時から開催された。

これは、心の豊かさや連帯意識の高揚を図り、

よりよい生活と人間関係を築くために村教育委員会が実施した。講師には、沖繩言論科学研究所長の山城興徳氏が当たった。学級生は二十四人で、一般青年男女、教師、議員、役場職員、家庭婦人と、あらゆる職業

の人が参加した。教室では、五週十五時間にわたり、「話し方の必要性・重要性」「人前で上らない方法」「心にしみる話し方のタネ」などについての講義が行われた。

四月十日には、中央公民館構堂において「教室に学んで」をテーマにした発表会が行われた。これまで、人前が上がったり、思ったことを話せない、という方も堂々とスピーチを行い、教室に参加しての評価と成果を全員で確認しあったという。

学級生からは、五十七年度も早く実施してほしいという要望もあるほどで、村教育委員会で六月・七月にでも実施する計画をたてている。

四月一日渡久地署を改称 本部署庁舎が落成

四月一日渡久地署から改称した本部署（伊波満署長）の庁舎が、このほど本部町大浜八五〇―一に完成。その落成式が四月二十日午前十一時から行われた。新庁舎は鉄筋コンクリート二階建て、建物面積は一、六二二平方メートル。総工費は一億七、〇四〇万円となっている。

▼新庁舎が完成した本部署



話し方教室に参加して

平敷六三〇 当山 弘子



私は常日頃、後先を考えないあけすけな言葉使用で多くの方々の心を傷つけ、「しまった」と思ったら後のまつりと後悔したり、処世にある程度必要なお世辞も言えずにいるので、少しでも丁寧な品のよい話し方ができれば、と願って「話し方教室」を受講することにきめた。参加した方々は商工会役員、村議、学校の先生、その他老人から青年まで多種多様、全く異色の同級生が編成された。

見当外れの結果になった。けれども、一人一人に対する講師の適切な指導、広い知識から事例引用したユーモアを混えた話し方にすっかりとりつかれてしまい、次週の土曜日が待たれてならなかった。

話を重ねることに、お互い同士心のわだかまりも段々に取り除かれ、和気あいあいの中に学習する事ができた。五週目の三分講話には、これまでに聞かしてもらった話の中で感動したことや、これからの希望等につ

湧川が優勝

第二回 少女バスケット

村教育委員会主催による各字対抗の「第二回少女バスケットボール大会」が、四月四日湧川小中学校体育館で開催された。午前十時より開会式が行われ、前年度優勝湧川チーム主将の嘉陽ちあきさんが力強く選手宣誓。次いで大城村教育長の激励のあいさつ、新城一文審判長の諸注意があり、トーナメント方式で試合開始となった。

謝名、今泊、仲宗根、上運天、越地、玉城の八チームが参加。父母の見守る中熱戦がくり広げられた。決勝戦には仲宗根と湧川が勝ち進んだが、練習量に勝る湧川チームが圧倒し、大会二連勝を飾った。

この大会は小学校の女子を対象としたもので、天底、湧川、象としたもので、ただ基礎コースを終えただけでまだまだ未熟です。この講座が、さらに中級・上級へと進められていったらどんなに素晴らしいことでしょう。ぜひ実現してほしいと願っています。人前に立つとドキドキが止らず思っている事が半分も言えない方。口を開くと他人に笑われはしないかとビクビク無口な方。今後機会がある時、大勢と一緒に勉強しませんか。不思議なほど口が開いてきます。愉快になり人生がバラ色になります。〈村役場勤務〉

資金貸し出し・心配ごと相談等

村社協のご利用を

高齢者居室整備資金貸付について

○万円までで利率年三%、一年据え置きで償還期間は十年以内となっております。

村社会福祉協議会では、老人専用の部屋を確保するために、居室整備資金の貸付を行っております。この資金の貸付対象は、六十歳以上のお年寄と同居している者で、病人がいるとか、家族が多いために老人専用の部屋が必要だが、増改築の資金造りが困難な者となっております。貸付額は最高一〇

詳しくお知りになりたい方は村社協(TEL四一〇二二)へお問い合わせください。心配ごと相談所について

村社協では、毎週水曜日午後一時より中央公民館において心配ごと相談所を開設しています。施設入所の手続方法、子供の問題、生計問題、どこに相談してよいかわからない事など、日常生活のあらゆる相談に応じていますのでお気軽にご利用下さい。なお、相談には民生委員があたっています。

山内昌雄氏が社会教育指導員に



▲山内昌雄氏

山内昌雄氏が社会教育指導員に

村の社会教育振興のため、昭和五十五年度から社会教育指導員制度が設けられ大きな成果をあげています。これまで二年間にわたり山内昌雄氏が担当され、社会教育の発展にご尽力さ

れてくれましたが、都合により三月末で退職されることになりました。変わって四月一日から山内昌雄先生(字仲尾次三三四)が指導員として委嘱されました。山内先生は、今年三月に兼次中学校校長を最後に教職を終えられ、今後はこれまでの経験をいかし各種教室、社会体育、青少年育成、団体育成を担当することになっていきます。なお、指導員の任期は一年で寺が村負担、尋は国・県の補助となっております。

若き後継者たち

①

花づくり一すじ

運天の渡久山稔さん

私たちの村には、未来の産業を支える多くの若き後継者たちが数多くいます。これら農業や商工業にたずさわり、明日の今帰仁村を支えていこうとする若者たちにスポットをあて、今後の産業問題を皆んなで考えていく為に、今回から「若き後継者」をシリーズで紹介します。第一

回は花き園芸に情熱を燃やす渡久山稔さん(二四歳・運天七九丸)の登場です。

◇ ◇ ◇

「農業経営には大胆さと細心さが必要だ」と渡久山さんはキツパリ。つまり経営拡大や経営刷新に立ち向う勇氣と、毎日毎日の記録や手入れをおこたらない心使いが大切だということだ。先の県花の展覧会では金賞と県知事賞を受賞。

中学の頃からすでに農業を志し、北農を経て農業大学校に学んだ。父親の盛春さんとカツチリ手を組み、二、四〇〇坪(ハウス六五〇坪)に、キク、カスミ草を栽培している。花きに取り組

んだのは三年前からで、それまでの野菜から切り替えた時は大きな不安もあった。ところが、持ち前の情熱と細心さで、昨年の台風にも被害を最少に食い止めることができた。花づくりの基本は親株作りと堆肥作り、というだけあって盛春さんが牛二頭を飼育。すでに今期の新植に備えて堆肥二十トンを生産したという。太陽の花に属しており、仲間とともに栽培や流通の学習会も欠かさない。また農協青年部の役員も兼ね、忙しい毎日だ。すでに夏樹ちゃん(一歳)と愛ちゃん(六カ月)の二児のお父さん。最愛の奥さん利恵子さんとは村のダンス同好会で知りあった。今でも夫婦揃ってダンスに出かけることがあるという。花きといえば、今最も脚光をあびている産業だが、出荷時には二時、三時までの夜なべもザラ。朝も早くから起きなければならず、「自分の健康管理」との戦いを余儀なくされる厳しさだ。また水資源の確保にも大きな負担がある。



将来は村の事業等も最大限に活用して施設や規模の拡大を図り「バラを作ってみたい」と夢は限りない。

▶花づくりにとり組む渡久山さん一家

児童手当の特例措置について

昭和五十七年度児童手当制度の改正について

①昭和五十七年六月から、児童手当の所得制限額が、六人世帯の場合で現行の年取四五〇万円未満から三九一万円未満に引き下げられます。

②昭和五十七年六月から昭和六十年五月までの間、所得制限により手当が支給されない被用者または公務員であつて、年収が三九一万円以上五六〇万円未満（六人世帯）の人に対し、昭和五十七年六月から第三子以降の児童一人につき月額五千円の特例給付を行います。なお当該給付に要する費用のうち、被用者に係るものについては、金額一般事業主から徴収する拠出金をもつてあてることとなつていま

※受給者（被用者又は公務員）の中で、昭和五十六年度の所得制限で児童手当がもらえなかつた方は、特例給付に該当すると思われまので、五月中に認定請求をして下さい。くわしいことについては、村役場厚生課までお問い合わせ下さい。

郵便局だより

感謝の気持ちをお手紙に

◎進学・就職された方に励ましのお便りを

皆さんのまわりには、この春進学や就職をされた方も多々あります。新しい学校や職場に慣れるまで、何かと不安があるものです。こんなときに、ご家族や親しいお友達からの手紙は心のささえとなり、たいへん嬉しいものです。そのような方々へ励ましのお便りをお出しになつてはいかがでしょうか。

また、進学や就職をされた方

から、遠く離れているご家族や恩師、お友達などへ、近況報告を兼ねたお便りも喜ばれます。

◎お母さんに愛のお便りを

五月の第二日曜日(五月九日)は「母の日」です。遠く離れて暮らしているお母さんへ、日ごろの感謝の気持ちを手紙に託して贈つてはいかがでしょうか。心のこもつたお便りは、母の日の何よりの贈物となります。

◎犬害の防止にご協力ください。

郵便外務員が配達途中で犬に

西平守昌氏より 育英会へ30万円の寄附



▲西平守昌氏

大阪市大正区北村二一五十四の西平守昌氏(薬剤師)より、子弟の教育に役立ててほしいと、三十万円の寄附が村育英会にありました。

西平氏は昭和十七年から十八年まで、村の育英資金を活用し勉学に励んだということで、今

かまれたり、とびつかれたりしてケガをするケースが多くなつていきます。郵便外務員を対象とした調査によると、配達途中の犬害は全国で一カ月におよそ一〇〇〇件にものぼり、このうちケガをした件数は約三〇〇件となつています。被害を受けた場所は、宅地内が全体の約八五%を占め、このうちの六五%は放し飼いの犬によるものです。郵便外務員に危害が及ぶ場合、郵便物の配達ができないことにもなります。飼ひ犬は必ずつなぐなどして、被害の発生防止にご協力ください。

30万円の寄附

巡回行政 相談開設

行政管理局沖繩行政監察事務所では、来る五月十六日から二十二日までの一週間、春の行政相談週間を実施することになりました。

行政相談週間は、国民の福祉向上と行政の民主的な運営を推進している行政相談制度の趣旨を広く一般国民に認識していただくために行われるものです。



57年度の自動車税は 5月31日までに納めましょう

納税通知書が届いてない方は今すぐ、下記へお問い合わせください。



沖繩県自動車税事務所(0988)79-1627
宮古支庁県税課(09807)2-2554
八重山支庁県税課(09808)2-3045

なきじん版

5月1日～6月1日

村民カレンダー



5/1	土	
2	日	
3	月	○憲法記念日
4	火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
5	水	○こどもの日
6	木	○区長会 (14:00、村役場ホール)
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	○乳児健診 (13:00～、役場ホール) ○人権相談 (10:00、中央公民館)
11	火	○成人相談 (10:00～12:00、呉我山公民館、 13:30～16:00、湧川公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
12	水	○成人相談 (10:00～12:00、上運天公民館、 13:30～16:00、運天公民館) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
13	木	○成人相談 (10:00～12:00、勢理客公民館、 13:30～16:00、天底公民館)
14	金	○成人相談 (13:30～16:00、渡喜仁公民館)
15	土	
16	日	○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場)

17	月	
18	火	○成人相談 (10:00～16:00、今泊公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
19	水	○成人相談 (9:00～12:00、兼次公民館、 13:30～16:00、諸志公民館) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
20	木	○成人相談 (9:00～12:00、与那嶺公民館、 13:30～16:00、仲尾次公民館) ○区長会 (14:00、役場ホール)
21	金	
22	土	○村体協主催職域野球大会 (13:00～ 村営グラウンド他)
23	日	○村体協主催職域野球大会 (9:00～ 村営グラウンド他)
24	月	
25	火	○成人相談 (9:00～12:00、崎山公民館、 13:30～16:00、平敷公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
26	水	○成人相談 (9:00～12:00、越地公民館、 13:30～16:00、謝名公民館) ○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
27	木	○成人相談 (9:00～12:00、玉城公民館、 13:30～16:00、仲宗根公民館)
28	金	
29	土	○村体協主催職域野球大会 (13:00～ 村営グラウンド)
30	日	
31	月	
6/1	火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)

編集後記



■大きめのランドセルを背負い小走りに急ぐ一年生。不安と期待の入学式からひと月近く。もう学校に慣れただろうか。五月五日から十一日までは児童福祉週間。健やかな児童の成長を皆んなで考える週間だ。他人もわが子同様の気持で接したいもの。

■先日あるカメラマンから「写真は雨の日でも写る」という話を聞き、胸をつかれる思いがした。つまり「雨の日でも工夫次第でより良い写真が写せる」ということだが、我々の心の中に「写真は雨の日には写せない」という既成概念が潜んではいないだろうか。ひいては、すべての物事を既成概念だけで判断してはいまいか。公務に携わる我々にとっては、考えさせられる一言であった。深く反省したい。

■昭和五十六年度県広報コンクールにおいて、村広報が特選の栄誉をいただいた。これも日頃の皆様の指導と協力の賜です。今後とも、厳しい批判と指導を。